

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公開番号】特開2007-111369(P2007-111369A)
 【公開日】平成19年5月10日(2007.5.10)
 【年通号数】公開・登録公報2007-017
 【出願番号】特願2005-307744(P2005-307744)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 7

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示部に絵柄を変動表示する絵柄表示手段と、

作動条件成立を検出する作動検出手段と、

前記作動条件成立に基づいて、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させるか否かの抽選を行う抽選手段と、

前記抽選手段の抽選結果に基づいて前記絵柄の変動表示を行うと共に、前記抽選手段の抽選結果が前記特別遊技状態当選の場合には、前記絵柄が特定絵柄で停止するよう前記絵柄表示手段を表示制御する表示制御手段と、

前記抽選手段の抽選結果が前記特別遊技状態当選であって、前記絵柄の変動表示が終了した場合に、遊技状態を前記特別遊技状態に移行させる特別遊技状態移行手段とを備えた遊技機において、

遊技領域に設けられると共に、遊技球が入球し易い開放状態とその開放状態より入球しにくい閉鎖状態とに切り換え可能な複数の可変入球手段と、

可変入球手段のいずれかに遊技球が入球した場合、該可変入球手段に応じて異なる特典を遊技者に付与する特典付与手段と、

遊技状態が前記特別遊技状態に移行した場合、前記可変入球手段を開放状態とした後に閉鎖状態に切り換える開閉制御を、前記各可変入球手段の開閉回数の合計が特定回数となるまで行う開閉制御手段と、

該開閉制御手段が前記特別遊技状態下で初回の開閉制御を行う前までに、前記各可変入球手段の開閉回数を導出し得るよう前記各可変入球手段のうち少なくとも 1 つの開閉回数を決定し得る開閉回数決定手段と、

該開閉回数決定手段の決定結果に基づいて、付与される特典の小さな可変入球手段から順に開閉制御されるよう、前記特別遊技状態下における可変入球手段の開閉態様を設定する開閉態様設定手段と、

遊技状態が前記特別遊技状態に移行した場合、少なくとも前記開閉制御が前記特定回数行われるまで、特別遊技状態演出を行うよう前記絵柄表示手段を演出制御する演出制御手段と

を備え、

前記演出制御手段は、

前記特定回数より少ない規定回数の開閉制御が行われる間に表示させるための演出データを予め複数記憶する演出データ記憶手段と、

前記開閉制御手段が前記規定回数の開閉制御を行う毎に、前記開閉態様設定手段の設定結果に基づいて、前記複数の演出データから1つの演出データを選択する演出データ選択手段と、

前記演出データ選択手段の選択した演出データを前記絵柄表示手段に出力することにより、前記演出データと対応する特別遊技状態演出を前記絵柄表示手段に行わせる演出データ出力手段と

を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記演出データ選択手段は、開閉制御される可変入球手段と対応する演出データを選択することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記演出データ記憶手段に、開閉制御される可変入球手段が変更される時期を示唆し得る表示を行うための示唆演出データを記憶させ、前記演出データ選択手段を、開閉制御される可変入球手段が変更される前に前記示唆演出データを選択する構成としたことを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記演出データの選択順序を定めた選択パターンを、前記開閉態様設定手段の設定し得る開閉態様毎に記憶する選択パターン記憶手段を備え、前記演出データ選択手段は、前記選択パターン記憶手段の記憶する選択パターンに基づいて、前記複数の演出データから1つの演出データを選択することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1に記載の遊技機。

。

【請求項5】

前記演出データ選択手段は、前記開閉制御手段が前記特別遊技状態下で初回の開閉制御を行う前までに、前記開閉態様設定手段の設定結果に基づいて前記複数の演出データから1つの演出データを選択することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1に記載の遊技機。

【請求項6】

前記演出データ記憶手段は、前記特定回数より少ない数の演出データを記憶し、前記演出データ選択手段は、前記特定回数の開閉制御が行われる間に、前記演出データの選択を複数回行うことを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1に記載の遊技機。

【請求項7】

表示部に絵柄を変動表示する絵柄表示手段と、

作動条件成立を検出する作動検出手段と、

前記作動条件成立に基づいて、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させるか否かの抽選を行う抽選手段と、

前記抽選手段の抽選結果に基づいて前記絵柄の変動表示を行うと共に、前記抽選手段の抽選結果が前記特別遊技状態当選の場合には、前記絵柄が特定絵柄で停止するよう前記絵柄表示手段を表示制御する表示制御手段と、

前記抽選手段の抽選結果が前記特別遊技状態当選であって、前記絵柄の変動表示が終了した場合に、遊技状態を前記特別遊技状態に移行させる特別遊技状態移行手段とを備えた遊技機において、

遊技領域に設けられると共に、遊技球が入球し易い開放状態とその開放状態より入球しにくい閉鎖状態とに切り換え可能な複数の可変入球手段と、

可変入球手段のいずれかに遊技球が入球した場合、該可変入球手段に応じて異なる特典を遊技者に付与する特典付与手段と、

遊技状態が前記特別遊技状態に移行した場合、前記可変入球手段を開放状態とした後に閉鎖状態に切り換える開閉制御を、前記各可変入球手段の開閉回数の合計が特定回数とな

るまで行う開閉制御手段と、

該開閉制御手段が前記特別遊技状態下で初回の開閉制御を行う前までに、前記各可変入球手段の開閉回数を導出し得るよう前記各可変入球手段のうち少なくとも1つの開閉回数を決定し得る開閉回数決定手段と、

該開閉回数決定手段の決定結果に基づいて、付与される特典の小さな可変入球手段から順に開閉制御されるよう、前記特別遊技状態下における可変入球手段の開閉態様を設定する開閉態様設定手段と、

遊技状態が前記特別遊技状態に移行した場合、少なくとも前記開閉制御が前記特定回数行われるまで、特別遊技状態演出を行うよう前記絵柄表示手段を演出制御する演出制御手段と

を備え、

前記演出制御手段は、

少なくとも前記開閉制御が前記特定回数行われるまで前記特別遊技状態演出を表示させることが可能な演出データ群を予め記憶する演出データ記憶手段と、

前記演出データ群を前記絵柄表示手段に出力することにより、前記絵柄表示手段に前記特別遊技状態演出を行わせる演出データ出力手段と、

前記開閉態様設定手段の設定結果に基づいて、前記演出データ群のうち所定範囲の演出データを出力しないよう規制するデータ出力規制手段と、

前記データ出力規制手段による規制が行われた場合、前記演出データ群のうち前記所定範囲と異なる範囲の演出データを複数回出力するよう前記演出データ出力手段を制御する重複出力手段と

を備えることを特徴とする遊技機。